

報告書

日時	令和 6年 8月 22日 (木) ～ 23日 (金)
研修名(イベント名)	第73回全国高等学校 PTA 連合会大会 茨城大会
参加者	PTA：出牛清孝・押田美由紀・平野真由美 後援会：尾関聡 加藤校長先生
報告者	押田美由紀 (次回運営委員会報告者：調整中)

報告内容

■研修であれば、研修名・講義・講師名・内容などを記入。イベントであれば内容や集合者紫雲など記載、

上記タイトルにありますように PTA 全国大会に参加してまいりました。全国大会は通例通り、1日目に分科会、2日目に全体会というながれで進んでいきます。浦和西高校参加者5名は、分科会は数あるプログラムの中から「みんなで考えよう、これからのPTA～あるべき新しい姿とは～」というタイトルで、花園大学教授の炭谷将史さんの講演とグループトークに参加いたしました。

講演会では、炭谷先生ご自身が高校での PTA 会長、県の PTA 会長としての経験を活かして、「PTA は学校づくりのパートナー」をテーマに「PTA 問題の整理」と「これからの PTA」をお話しいただきました。

☆PTA 活動は充実していますか？

☆PTA 活動に関わっている自分は好きですか？

まずは現在の立ち位置についての確認。そして、PTA は異なる社会的バックグラウンド（出身地・職業・出身校など）の大人が集い、（営利などはっきりした）目的もままならないままに運営する組織、つまり運用に「成熟」を必要とする。そして、「不機嫌に学校と交渉し、文句を言っている保護者の姿」と「協力して、親同士が仲良くしている姿」、どちらが子どものため??など、どのような立場で考えるかを話していただきました。

さらに問題点として、運営の問題（強制参加反対・過大な負担）と連合組織（各府県P連など）不要論など昨今、話題になる問題についても切り込んで、先生ご自身の意見・提案をお話されました。浦和西高校での今後の運営に参考になる事例や考え方を学ぶことができました。

続いてのグループトーク「出牛会長が入ったグループ」では群馬県と千葉県の子供の PTA の方と情報交換 (PTA の現状やうまくいっている点や問題点など) を話し合いました。各学校で問題点などありますが、西高には「バス旅行」「西高を語る会」があると話したときに、どの学校からも羨ましいと言われたことにうれしく感じました。また、改めて西高 PTA はイベント 1 つ 1 つがインパクトの大きいものを実施していると感じました。本当に 1 日目だけでも非常に有意義な分科会でした。

2日目の全体会では、二所ノ関寛 (第72代横綱・稀勢の里) さんによる「人材育成の不易流行」というテーマでご講演いただきました。現役引退後、早稲田大学大学院スポーツ研究科修士という異質な経歴をお持ちですが、なぜ大学院に入学したのかをお話しになりました。そのきっかけは、「プロ野球にはドラフトがあるが、Jリーグにはそういうシステムがない。なぜ違うのか？」それを明確に答えてくれた方が早稲田大学の教授で、それで入学を決意したそうです。大学院での学習は相撲時代よりも厳しく、挫折もありましたが、優秀賞をいただくぐらいの論文を書き上げ、現在はご自分の部屋で、早稲田で学んだ理論を実践しているとのこと。通例は東京・両国近くに作る相撲部屋を茨城県阿見町に作り、古いしきたりを合理的でリベラルな環境に変えることに努め、その結果、数ある相撲部屋の中で二所ノ関部屋が最高勝率をマークしたそうです。相撲界の鹿島アントラーズ(地元・茨城県に愛される相撲部屋)を目標に、活動していると話を結ばれていました。PTA 活動でも、科学的根拠と、前年踏襲にとらわれず常に新しい視点で考えて動く姿勢が大事だと学びました。

今回は浦和西高校を代表して、貴重な機会に参加させていただきまして誠にありがとうございました。この紙面では伝えきれない貴重な情報もたくさんあります。更に素晴らしい浦和西高校のPTA活動を作り上げていくために少しでもご尽力できればと考えております。また、引き続き「学校サポーター」としてPTA皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

